

『人の手で自然の森をつくる（仮題）』 児童用資料のとりまとめ例

児童用資料例① 基本資料

釧路湿原のまわりの森林で行われている活動（仮題）

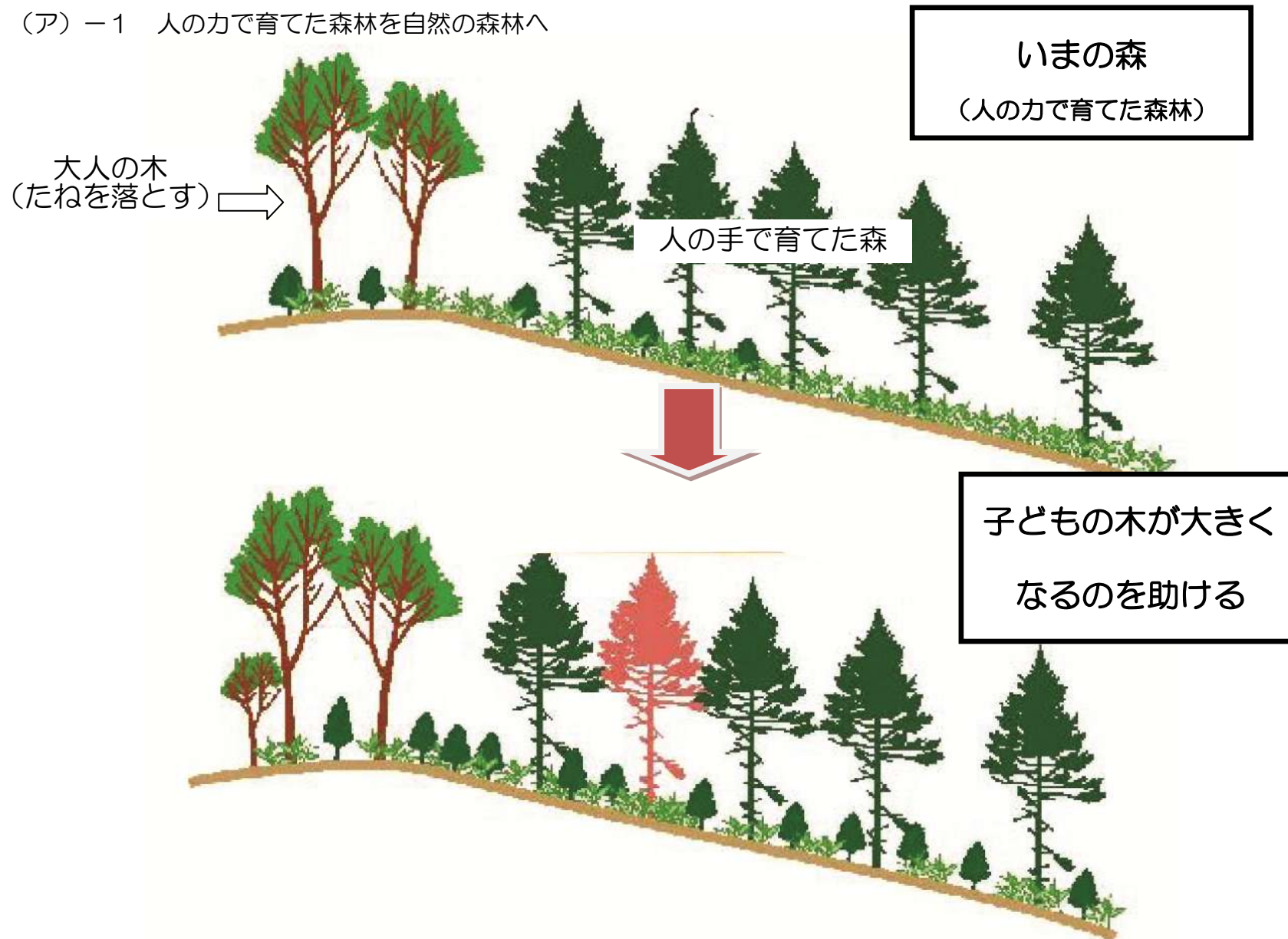
釧路湿原は日本の中でも一番大きな湿地で、たくさんの動植物が住んでいる自然が大変豊かな場所ですが、この数十年の短い時間に、広さは小さくなり、自然の中身も急に変ってきたことが心配されています。そうした湿原を守っていくためのいろいろな活動が行われていますが、その一つが、人の手で植えられた1つの種類の木から出来た森や枯れてしまった森を、元々この地域にあった様々な木が生えた自然の森へ変えていこうという活動です。

森林に振った雨はゆっくりとしみだしてきて釧路川に集まり、湿原をゆっくりと流れながら様々な動植物を育てています。また、森の木々は、土が川に流れ込むのを防いだり、多くの昆虫や動物が生活していく場所になっています。森には人の手で作った森と自然の力で出来た森がありますが、自然の力で出来た森の方が、多くの動物達が住むことができ、豊かな湿原を守っていくことにもつながっていきます。

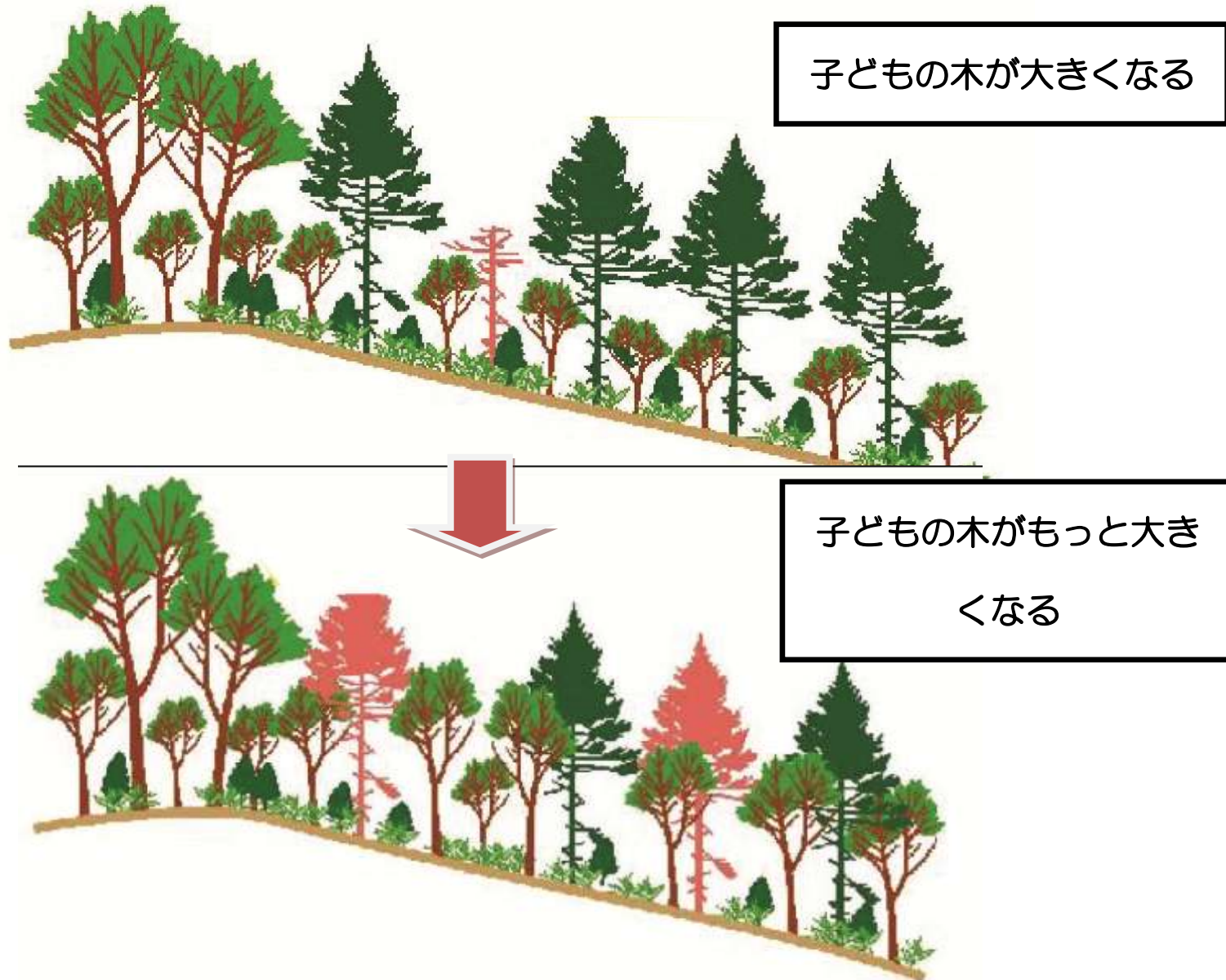


児童用資料例② 補足資料

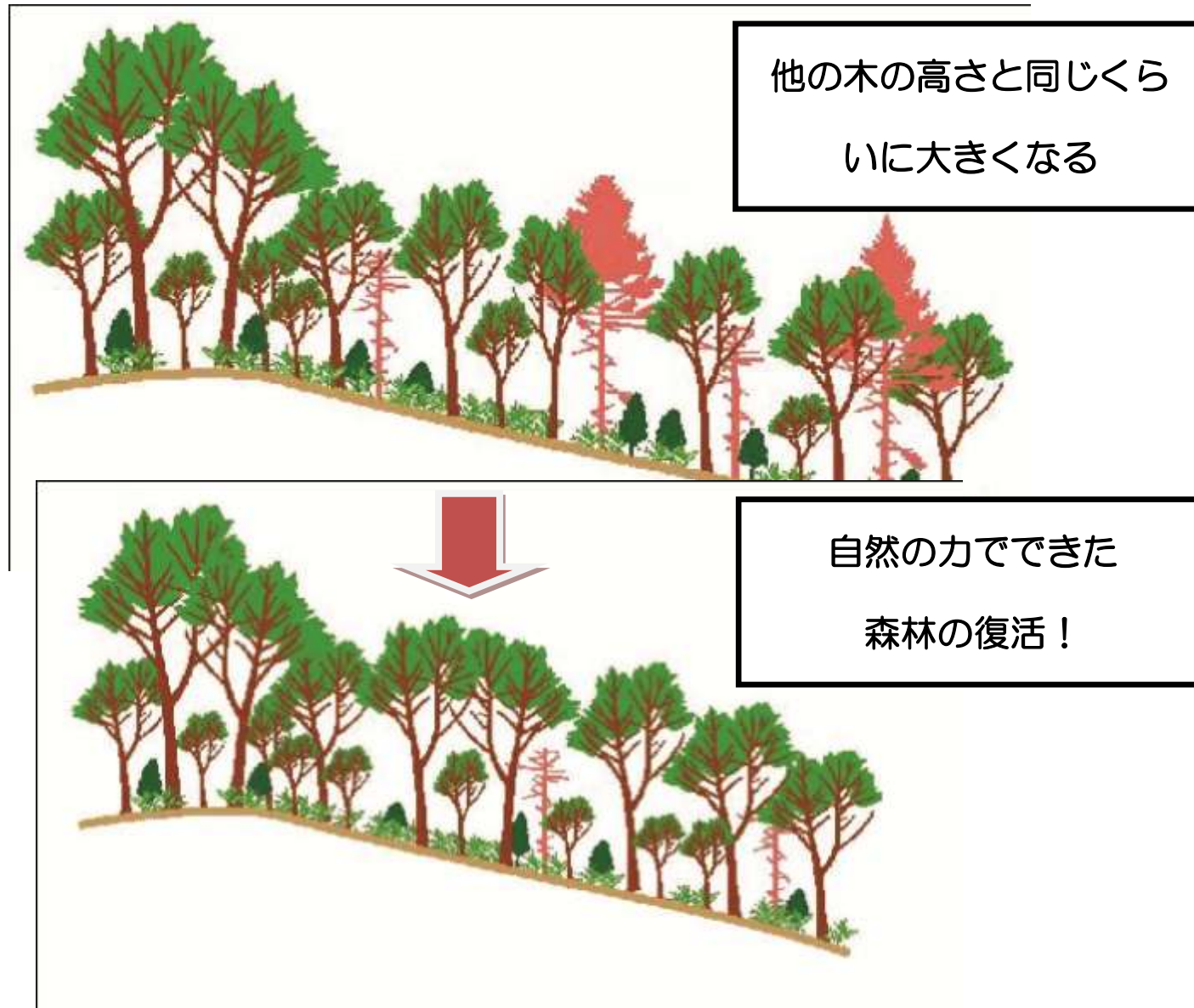
(ア) -1 人の力で育てた森林を自然の森林へ



(ア) - 2 人の力で育てた森林を自然の森林へ



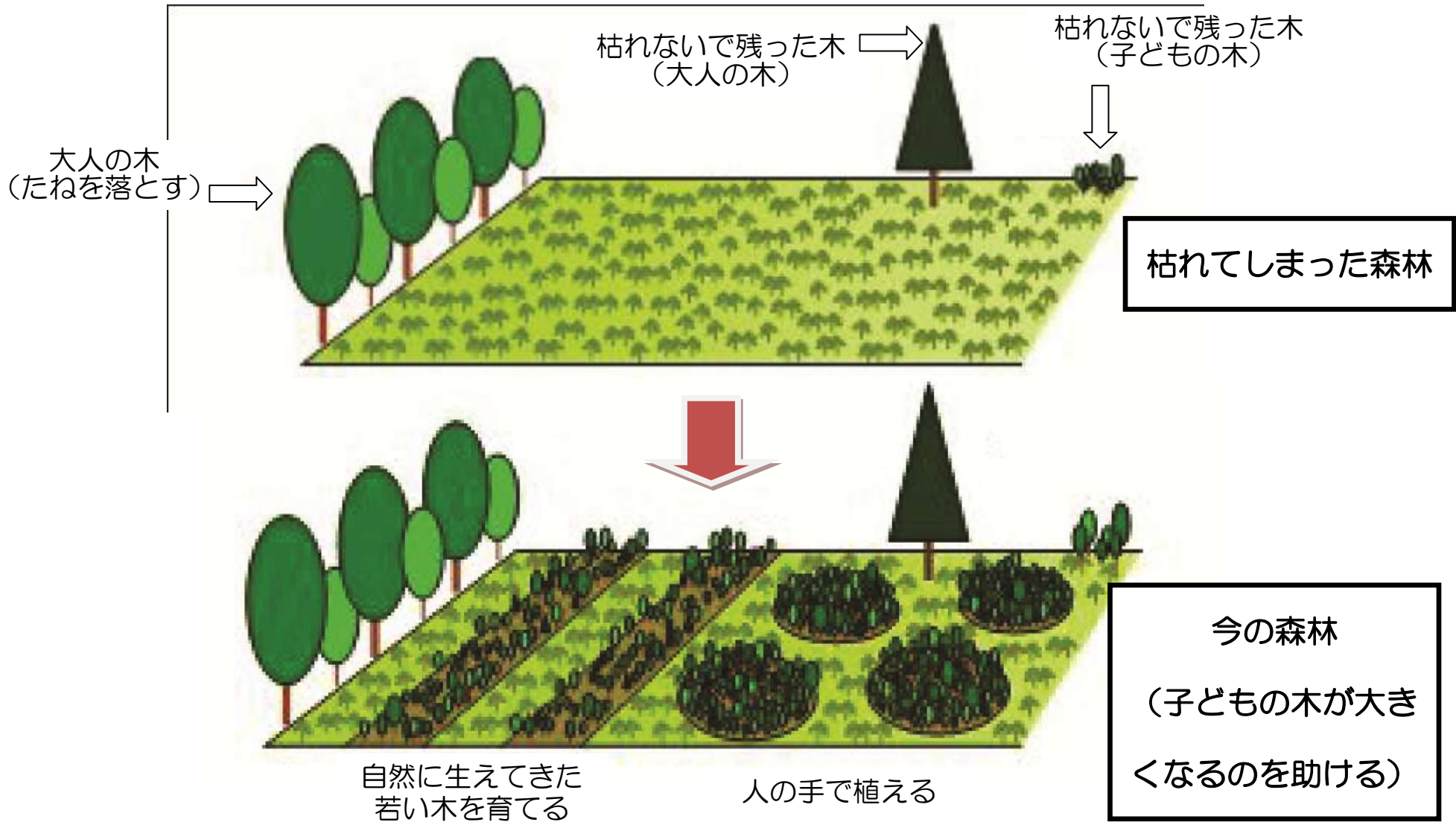
(ア) - 3 人の力で育てた森林を自然の森林へ



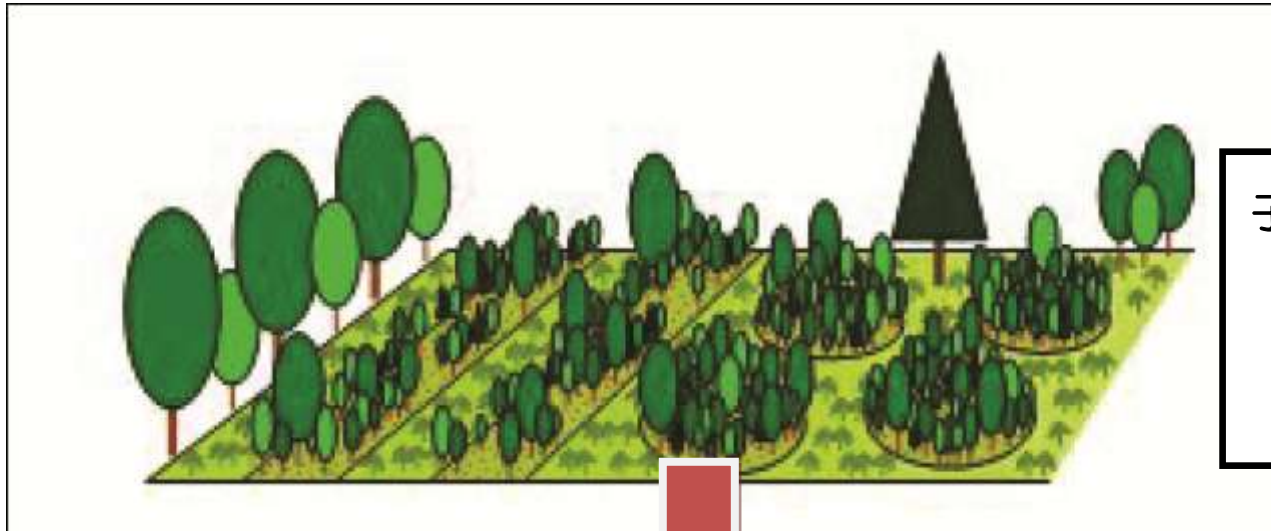
他の木の
高さと同じく
らに大きくな
る

自然の力で
できた
森林の復活!

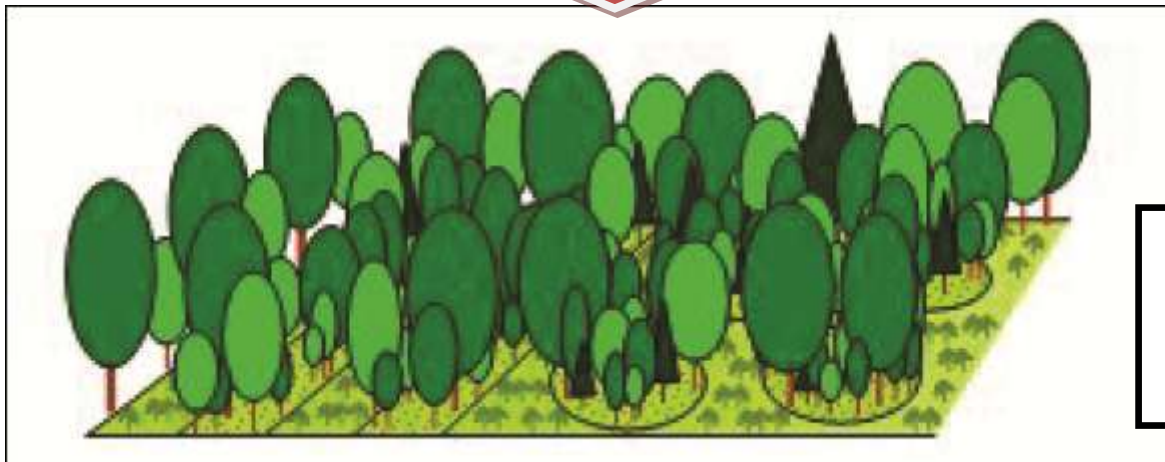
(イ) - 1 森林が枯れてしまった場所を自然の森林へ



(イ) -2 森林が枯れてしまった場所を自然の森林へ



子どもの木が大きくなるのを助ける
(続けていく)



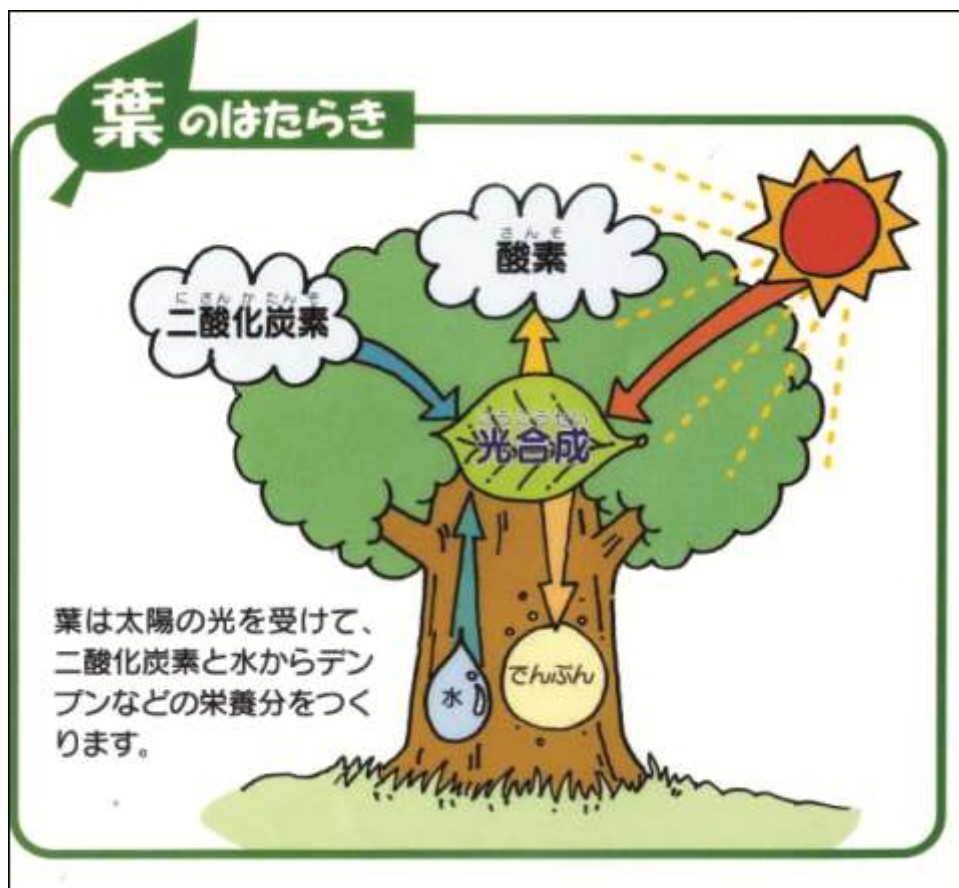
育った森林の
イメージ

(ウ) 森林ってどんなもの？

《森林の働き》



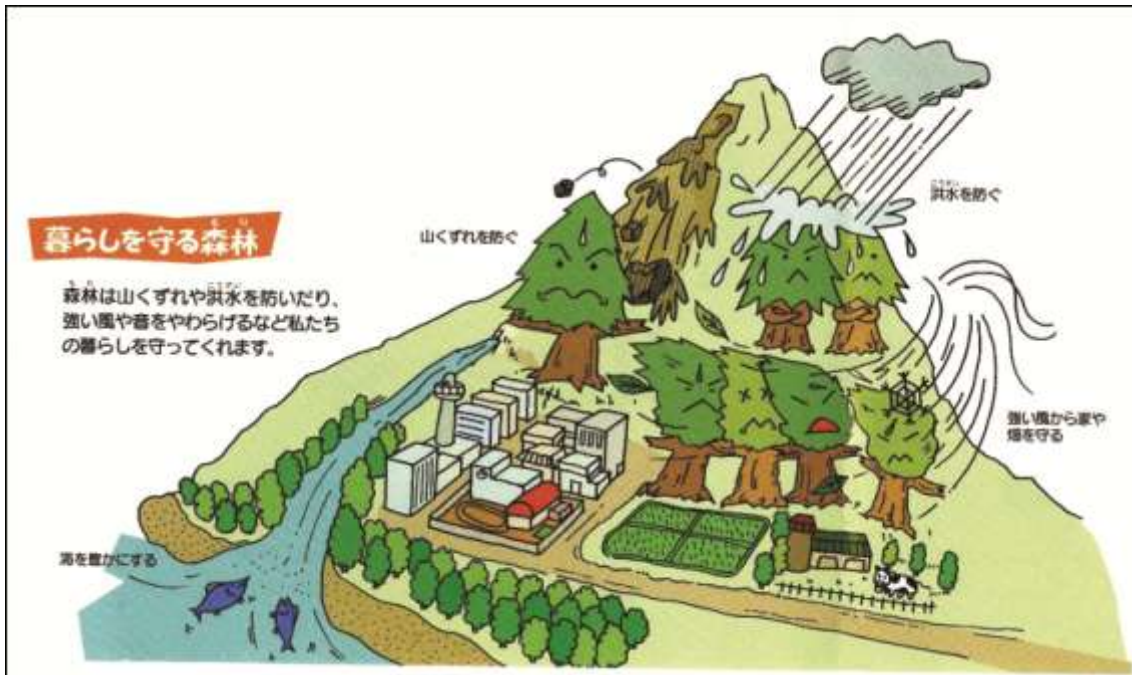
《葉の働き》



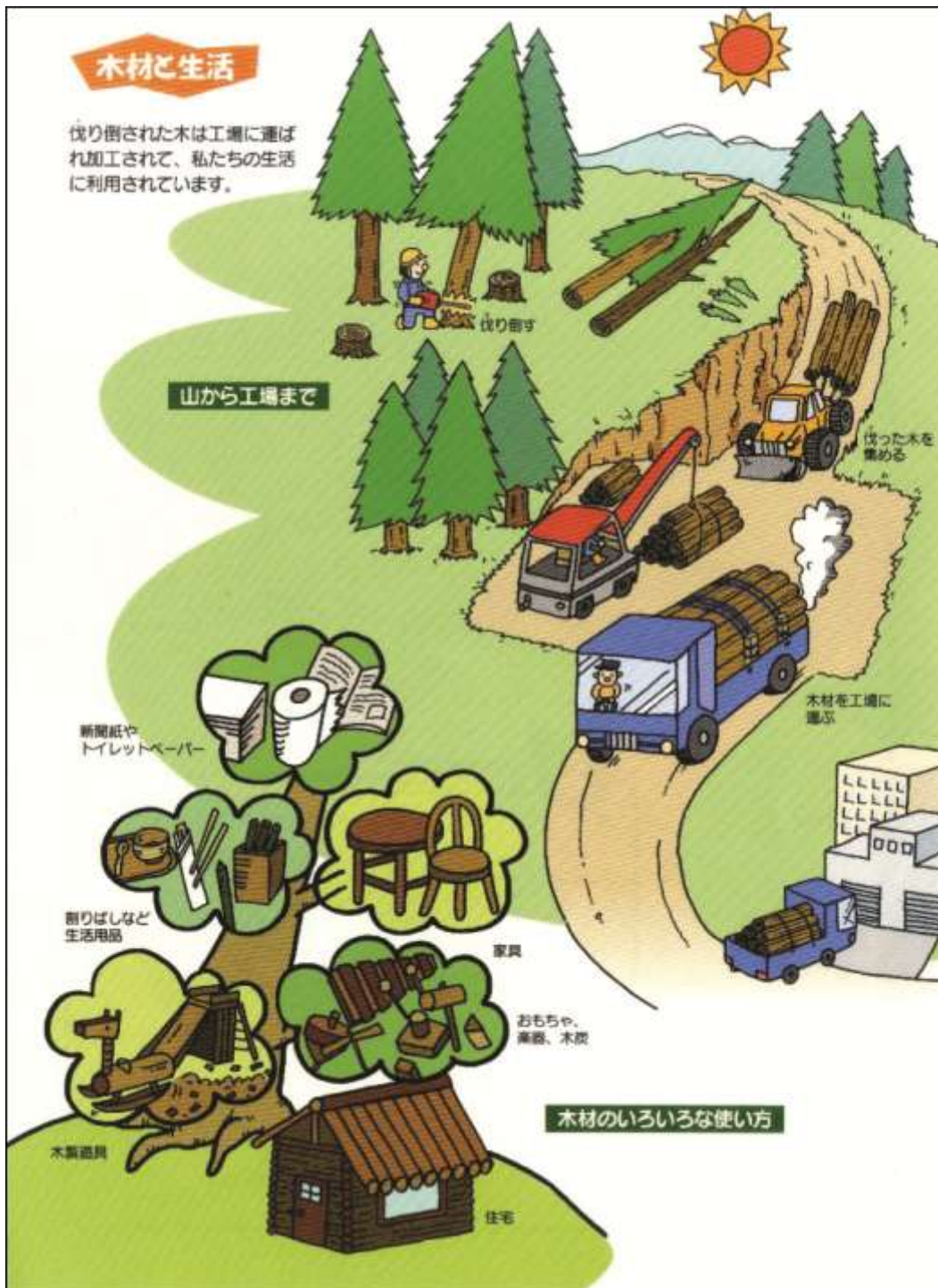
《森林は生きている》



《暮らしを守る森林》



《木材と生活》



《人の力で育てた森林》

